

2021 年度バックエンド週末基礎講座 分かりやすい地層処分 Q&A を考える (オンラインディスカッション)

竹野竜平*1

地層処分事業を実現するためには地層処分事業について社会の信頼・理解を得る必要があり、事業の内容、技術開発の進捗等、地層処分の技術的な成立性を幅広い分野の専門家や一般の方々コミュニケーションを通じて分かりやすく説明しなければならぬ。本演習では、地層処分の技術的内容や安全性を一般の方々に説明することを想定して、参加者に Q&A の回答文を作成してもらった。他者と自身の回答を比較することで、技術者・研究者がコミュニケーションの場において心掛けるべきこと、留意すべき言い回しや根拠とする情報の種類、内容などを確認した。

Keywords: 地層処分, コミュニケーション, Q&A, グループワーク

1 はじめに

講座内の演習として「分かりやすい地層処分 Q&A を考える」を実施した。本講座において本演習は参加者間でのコミュニケーションに関わる演習に位置付けられており、昨年度に引き続き 2 回目の実施となる。以下にその概要をまとめる。

2 演習の概要

2.1 ねらい

本演習で参加者は、地層処分事業に関してよく頂く質問への回答文作成、発表及び納得感の得られる回答文の要件についての議論を行った。

専門としている分野や精通している研究内容が同じ者同士であれば、情報交換や議論はその分野に関する基本的な知識、経験に基づいて成立することが多い。つまり専門用語を駆使した説明や要点のみを説明した場合であっても大抵は理解される。

一方で、専門分野が異なる者同士又はある専門分野の者が一般の方で行う情報交換や議論は想像以上の困難を伴う。理由として専門用語のような当該分野において常識とされる前提条件が通用しないことや、相手の思考の原因(例えば、相手はなぜこんな質問を投げかけてくるのか)を把握する必要があること等が考えられる。

地層処分の分野においては、地層処分に対する社会の信頼・理解を得ることが地層処分事業の進展に寄与するため、一般の方々が理解できる説明が重要である。

本演習では技術者・研究者が自身の専門分野についてあまり詳しくない方々に説明する場面を想定し、質問に対してどのように回答すると納得感があるか、どのような根拠を組み合わせた説明だとより伝わりやすいのかを体験し確認することをねらいとした。

2.2 実施内容

回答文を整理するうえで前提条件を「質問者は地層処分に関してあまり詳しくない人」と置き、留意点として質問文から「質問者はなぜその疑問や不安を抱いているのか」

How can we provide convincing answers to questions on geological disposal? by Ryuhei TAKENO (rtakeno@numo.or.jp)

*1 原子力発電環境整備機構

Nuclear Waste Management Organization of Japan (NUMO)

〒108-0014 東京都港区芝 4-1-23 三田 NN ビル 2 階

本稿は、日本原子力学会バックエンド部会 2021 年度バックエンド週末基礎講座における講演内容に加筆したものである。

を具体的に想定してそれに対応した回答とすること、質問者に規模感や安全性についてのイメージを共有するためには質問者が想像しやすい類似事例を補足することが効果的であることなどを共有した。

参加者は原子力発電環境整備機構ホームページ「よくあるご質問」(以下、ホームページという。)[1]から事務局が指定した質問に対して回答文を整理した(参加者にはホームページの回答文を伏せてある)。A グループは「将来の人間が、地層処分したものを掘り出してしまうことはありませんか?」、B グループは「地層処分は地下 300 m で十分ですか?」¹⁾について回答文を整理した。

回答文を発表してもらった際は、質問者が何を疑問・不安に思っているかと想定したのかを他の参加者に説明してもらうことで、回答文の意図と組み立ての考え方を参加者間で共有した。さらにグループワークとしてホームページと各自の回答文を比較し、回答文の改善点について議論し、回答文を整理検討するうえでの留意点を確認した。わずかな時間(10分)ではあったが、参加者は質問者の疑問や不安を想定しそれに対する回答文を整理できた。

A グループでは一般的な地下利用の規模感を類似事例として示したり、処分場周辺の住民目線で地上へのマーカーに触れたりする回答が多く見られた。これらの記載はホームページの回答文とも一致している。B グループにおいては放射性核種の地下水移行による被ばくまで考慮した回答が多くみられた。ホームページ回答文では「地下 300 m より深くすることが法律(特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律)で定められています」と記載されているが、これより踏み込んだ回答文となった。

3 まとめ

質問者の背景にある疑問点や不安を考慮した回答を検討してもらうことや相手の経験に基づく補足情報を提示することで質問者の納得感が得られ、より伝わりやすい説明になることを参加者には体験してもらうことができたと感じている。

参考文献

- [1] 原子力発電環境整備機構: よくあるご質問 (online). https://www.numo.or.jp/q_and_a/ (accessed 2022-04-14).

1) 本演習実施時はホームページ内に掲載されていたが、質問事項の整理により、2022 年 4 月 14 日現在は、「地層処分はどれくらいの深さに埋めるのですか?」に統合されている。